

令和5年4月1日付け 知事部局人事異動について

1 人事異動の概要

県政の諸課題に対応するための組織改正に併せて、適材適所による人事体制を整備した。

○令和5年4月異動：882人 ← 令和4年4月異動：885人

※異動規模は近年900人前後で推移（H31年4月+7月：866人、R2年4月：878人、R3年4月：887人）

(1) 女性管理職日本一の水準がさらにアップ

女性活躍における全国の最先進県として、新たに中部総合事務所長、西部総合事務所長の職に女性職員を配置するなど、管理職の男女共同参画を進め、県政の主要施策を推進する。

〔女性管理職員(部次長級)の主な異動〕

◆中部総合事務所長	木本 美喜(部長級)	現 地域づくり推進部長
◆西部総合事務所長	中原 美由紀(部長級)	現 交流人口拡大本部長
◆総合事務センター所長兼庶務集中課長	梶川 智子(次長級)	現 福祉監査指導課長
◆健康医療局長 兼新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長 兼新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム長	坂本 裕子(次長級)	現 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長
◆水産振興局長	鈴木 由香利(次長級)	現 総合事務センター所長
◆倉吉保健所長	小倉 加恵子(次長級)	現 子育て・人財局参事
◆西部総合事務所日野振興センター所長	吉岡 佐知子(次長級)	現 日野県土整備局副局長

〔管理職(課長級以上)に占める女性の割合〕

令和4年4月現在:22.7%(全国第1位) ⇒ 令和5年4月(速報値)24.8% 内閣府公表ベース
全国一位であった前年度の水準がさらにアップし、女性活躍の場が拡大。

※知事部局、病院局、教育委員会(学校の教員を除く)、各種委員会、警察本部を含む県全体

※内閣府は、都道府県の女性管理職の割合を公表しており、例年、4月の状況を当該年度の12月に公表

(参考)知事部局の管理職(課長級以上)職員の女性割合：18.0% ⇒ 19.8%(67名 → 73名)

(2) 県政の主要課題への対応

① 今後の感染症対策に向けた新たな体制の構築

福祉保健部に「感染症対策局」を設置(新型コロナウイルス感染症対策本部事務局は感染症対策局の職員が兼務)

◆感染症対策局長 兼新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長 兼クラスター対策監	荒金 美斗(次長級) 現 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長 兼クラスター対策監
◆感染症対策局総合調整課長	太田 次郎(課長級) 現 新型コロナウイルス感染症対策総合調整課長
◆感染症対策局感染症対策課長	梶岐 幸子(課長級) 現 医療政策課長

② 児童虐待防止に向けた体制の強化

家庭支援課内に児童養護・DV室(福祉相談センター駐在)を新設し、3児童相談所を統括する機能を強化

◆家庭支援課児童養護・DV室長	西村 耕一(課長級) 現 米子児童相談所参事
-----------------	------------------------

③ 鳥インフルエンザ等対応に向けた家畜防疫体制の強化

県内での鳥インフルエンザの経験を踏まえ、特定家畜伝染病の防疫対策として、「畜産振興局」を再編(畜産振興局内に「畜産振興課」と「家畜防疫課」を設置)

◆畜産振興局長	田中 成彦(次長級) 現 畜産課長
◆畜産振興局畜産振興課長	福田 孝彦(課長級) 現 倉吉農業改良普及所長
◆畜産振興局家畜防疫課長	寺坂 陽一郎(課長級) 現 畜産課家畜衛生・防疫対策室長